

『報恩講』とは私たち浄土真宗が一年間で最も大切にしている仏事です。浄土真宗の宗祖親鸞聖人のご命日を中心にして行われる仏事です。親鸞聖人のご遺徳をしのび、共に仏法を聞いて語り合う集いであり、生きていくなかで受けてきたたくさんの方の「恩」に「報いる」ことに思いを馳せるひとときでもあります。

親鸞聖人の御命日は新暦では一月十六日です。京都の本山本願寺では毎年一月九日～十六日まで報恩講がお勤まりになります。一月十六日は皆で京都にお参りに行きますよということ、その他の寺院では旧暦の十一月二十八日の前後に報恩講がお勤まりになります。あきる野本願寺でも毎年十月上旬に報恩講をお勤めしております。ユーチューブにてあきる野本願寺報恩講と検索していただきますと、今年度の報恩講の映像を見ることが出来ます。

私たちに阿弥陀さまのみ教えをお伝えくださり、仏恩に出遇わせてくださった親鸞聖人のご遺徳を偲び、お念仏申す日々を歩ませていただきますように。